

授業概要

幼児期や小学校「生活」は遊びや体験のなかに子どもの学びや育ちを見出している。このような発達段階の子どもへ指導者としての支援や指導の在り方を具体的な活動を通して学ぶ。また、映像の分析やフィールドワーク、具体的な活動を通して環境構成や学習材の吟味や働きかけなどを学ぶ。

授業計画

第 1 回	「遊び」の中にある「学び」 総合的に指導するということ
第 2 回	子供時代の体験の価値
第 3 回	身近な春の自然とかかわる
第 4 回	観察・表現 「春の花図鑑」 情報機器の活用
第 5 回	子どもの空間認識 子どもが見ている世界
第 6 回	ひと・もの・ことが刻む「原風景」
第 7 回	私の原風景を伝え合う
第 8 回	遊びが育てる力 幼稚園 映像分析①
第 9 回	遊びが育てる力 幼稚園 映像分析②
第 10 回	遊びの質を高める環境構成と支援
第 11 回	動くおもちゃ 小学校 映像分析
第 12 回	身近な素材とかかわるワークショップ ～動くおもちゃをつくる・遊ぶ・伝える
第 13 回	試行錯誤・創造的思考・表現活動
第 14 回	おもちゃの絵本 ブックトーク
第 15 回	IT時代における子ども・幼児期 教育の在り方
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・遊びや体験の価値について理解し、発達段階を踏まえた、環境構成や指導・支援を考えることができる。
- ・身近な事象と関わることを通して、目標の達成に向けて適切な素材を吟味したり学習活動を工夫したりすることができる。
- ・領域「環境」と小学校「生活」の目標を理解し、学びが連続していることを理解する。

履修上の注意

- ・各回の授業内容は連続性をもたせているため、欠席の場合には、授業内容や課題の把握を行い、授業に支障がないよう対応すること。

予習・復習

- ・予習：提示された課題については準備して授業に臨むこと
- ・復習：学んだことを資料等の再構成により整理し、まとめること。

評価方法

課題作成、レポート 30% 授業への参加度 30% 定期テスト 40%

テキスト

- ・必要に応じて、資料として配布したり紹介したりする